

森林環境税とは？



国は、森林整備などに必要な財源を安定的に確保するため、国内に住所がある個人に課税される「森林環境税」として、令和6年度から国民1人あたり年額1,000円の徴収を始めています。
 なお、令和5年度で復興特別税(年額1,000円)の徴収が終了したため、税負担額の増加はありません。
 「森林環境税」による税込額に相当する額が、市町村や都道府県に対して「森林環境譲与税」として交付され、市町村や都道府県は、「森林環境譲与税」を活用し、将来を見据えた森林づくりに取り組んでいます。



国から上田市への譲与額

- 過去5年(令和元～5年度) 総額 約2億2,500万円
- 今年度 約7,300万円

国の基金の活用により、令和元年度から森林環境譲与税の交付を受けています。

森林環境譲与税の使い道

「森林の整備の促進に関する施策」などに充てることとされています。
 例として、

- 森林整備**
防災・減災を目的として、手入れの行き届いていない個人所有の人工林を整備
- 木材利用**
公共施設を中心に、上田市産木材の利用を促進

- 人材育成**
林業従事者の確保・育成
- 普及啓発**
森や林業に親しむイベントなどの開催



市が主催する「みどりの体験塾」では、森に親しむイベントを実施しています。

具体的な市の取り組み内容は、次のページで詳しく説明します。



図 森林整備課 ☎23-5124

特集
**森林を守ることは
 私たちの暮らし・未来を守ること**

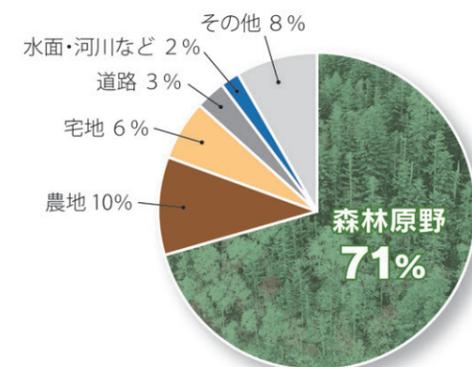
**森林を守るための
 森林環境税が
 導入されました**
 森林は二酸化炭素の吸収や土砂災害の防止、水を蓄えきれいにすることで、私たちの暮らしや未来を守るためにとても大切な役割を果たしています。
 このような森林を守るため、「森林環境税」が導入されました。今回は、森林環境税の目的や使い道などについてお知らせします。

**森林の手入れが必要で
 私たちが暮らす上田市は、緑豊かな山々に囲まれたまちであり、市の面積のうち、約7割が森林原野で、その中でも約35%が人の管理や手入れが必要な人工林となっています。**
 かつては建築資材などに多くの国産の木材が使用され、林業に携わる人も多く、森林が適切に管理されてきました。しかし、外国産木材の輸入増加や、担い手不足、管理者が不明な森林の増加などによって、適切に管理されない森林が増えてい

森林の持つ機能(主なもの)

- 二酸化炭素の吸収
- 土砂災害の防止
- 水源・水の貯留
- レクリエーション・癒し
- 木材などの生産
- 生物多様性の保全

上田市の土地利用区別面積



特集内容の一部は動画でご覧いただけます



森林環境譲与税はこんなことに使われています

1.市町村森林経営管理制度を活用した森林整備

手入れの行き届いていない森林(個人所有林)について、市が所有者から経営管理の委託を受け、**防災・減災や環境保全**を目的に管理する制度です。今年度は真田地域の傍陽曲尾地籍で整備を予定しています。今後も土砂災害などのリスクが高い地域から、順次整備を行っていきます。



令和6年度に整備を予定している傍陽曲尾地籍

2.伐採後の再造林



伐採後の山林に新たな苗木を植え、森の若返りを進めています。

3.林道の整備



間伐などの森林整備や木材の運搬のために、林道の整備を行っています。

4.スマート林業の推進



ドローンを活用して空中から森林の状況を把握し、効率的な森林整備の計画に役立てています。

5.自治会などによる里山の整備(里山整備事業交付金を創設)

自治会などが中心になって行う、里山・森林の整備活動に対する交付金を創設しました。



市ホームページ

交付対象者	自治会 など
交付上限額	対象となる事業(実費)に対して30万円
交付対象森林	地域森林計画で定められた森林(森林法第5条に規定される森林)および、当該森林と一体的に整備される森林
交付対象となる取組	①樹木の植栽、下刈り、除伐、間伐 など ②荒廃竹林の整備 ③鳥獣対策を目的とした緩衝帯整備 ④作業道、登山道などの開設、改良または維持、保全

※例年行っている取り組みも対象となります。詳細は、市ホームページをご確認ください。

私たちが上田の森を守る!

森林整備に携わる人の声



(株)小山林産 林業部長 北川さん

特殊伐採や林業全般を手掛ける (株)小山林産

森林を整備することの大切さ

多くの人工林は植林から60〜70年経過しており、収穫期を迎えています。祖父母の世代が植えた木を我々孫世代がしっかりと整備し、次の世代につないでいくことが林業の本質です。

森林には、水や空気の浄化、土砂流出の防止、木材の供給、多様な生物の生育地になるなどのさまざまな機能があります。これらの機能を十分に発揮するには、森林が健康な状態であればなりません。木々の間隔を適切にコントロールし、林内に光を入れ、さまざまな植物が生育し、深く根の張ったどっしりとした木を育てることが重要です。



特殊伐採



木を収穫するための森林作業道と伐倒の様子。収穫後は植樹します。

林業の魅力

自然の中でスケールの大きい仕事ができるため、作業を終えた時の達成感が大きいです。また、現場作業のみならず、作業の全体をマネジメントする業務もあり、関係者全員の思い描いた森林に仕上がったときはやりがいを感じます。山の空気が吸ったり、川の音を聞きながら休憩できるのも最高ですね。



手塚自治会長 曾根さん

里山整備事業交付金を活用 手塚自治会

里山整備の目的

女神岳からの水が湧き出している「竜王湧水」へ多くの人に来ていただくために、道を整備しています。地元の方にもろんのこと、たくさんの方にこの場所の良さを知ってもらいたいのです。防災・減災も大きな目的のひとつです。

森林を整備することの大切さ

山に入って雑木を整備することで、水が蓄えられ、土壌を守ってくれます。この林を整備することが水や土、さらには安全・安心な地域づくりにとって大事なことだと思っています。



手入れがされていない竹林の伐採と林道整備



竜王湧水



竜王湧水にそびえ立つ御神木

県内産の木材を第五中学校に活用

現在新築工事を行っている第五中学校では、県内産の木材が使用されています。

建築現場を見学した生徒からは、「木の香りが心地よい」「木の温かみがある」などの声が聞かれました。今後も市民の皆さまが地域で産出された木材に親しめるように、公共施設などで活用していきます。



未来に向けた森林づくりのために

森林は、私たちにとってとても大切な財産です。この森林を守ることが、今の生活だけでなく、未来を守ることにもつながっていきます。

上田市の豊かな森林がその機能を十分に発揮できるよう、「森林環境譲与税」を活用し、未来に向けた森林整備を行ってまいります。受け継いだ森林を次世代につないでいきましょう。